

2020年12月26日 北横岳

メンバー：L 岩田

しらびそ山の会入会后、初の個人山行として、雪の北横岳を選びました。目的は12本爪アイゼンを使っの雪道に慣れること、冬の定番トレーニングコースを見つけることです。

低気圧が東に去り、高気圧が張り出してきたタイミングでしたが、ハヶ岳では厳しい冬型にはならず、穏やかな天候でした。ただし、前日に降雪があったようで、～10cm程度の新雪あり。

AM7:00 ロープウェイ山麓駅登山口を出発。山麓駅から北横岳に登るのは初めてでしたが、先行者が1名おられたため、登山ルートに踏み跡があり、間違えずに登ることができました。登山口からのやや急な登りでは、一旦溶けた雪が凍って、滑る状態で、アイゼンをつけるか考えましたが、様子を見ながらそのまま登りました。

途中、ゲレンデを横切り、その先で先行者がアイゼンを装着した様子が踏み跡から分かりましたが、まだ行けそうなので、そのまま未装着で進みました。直後にゲレンデの横に差し掛かったところで、やや急な斜面で、新雪が積もり、滑りやすい箇所があり、アイゼンを装着しようと考えましたが、斜面では安定して装着できないので、斜面を登り切ったところで、装着しました。アイゼンの装着については、以降の状況をあらかじめ想定して、安全な場所で早めの実施するべきであると痛感しました。

AM8:30 ロープウェイ山頂駅着 キツツキ前で小休止

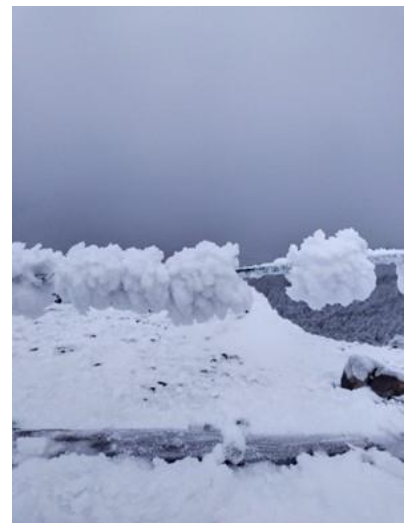
ここからは、夏に歩いた道なので、ある程度イメージができ先を予測しながら歩きました。積雪は明け方までに降った雪が5～10cm程度ありましたが、歩行に問題はなし。

AM9:10 北横岳ヒュッテ着 小屋前の椅子で小休止



AM9:30 北横岳（南峰）着 雲の中で展望はなし。風は思ったほど（期待したほど）ない状態。道標には風で雪が付着し、エビのしっぽがややあり。ロープには丸く雪が付着しモフモフ状態でした。

北峰も同様の状態で、晴れないかしばらく待ちました。一瞬蓼科山のふもとまで見えたが、すぐに雲が来て隠れたため、下山。



AM9:50 北横岳ヒュッテ

AM10:30 ロープウェイ山頂駅 北横岳ヒュッテ～山頂駅間では、ちょうど9時のロープウェイからの登山者がすれ違い、待ち時間多し。このあたりで、やや雲が切れ山頂が見える状態に。もう一度登ろうかとも考えましたが、また晴れたときに来るモチベーションのため、今日のところは展望はお預け。そのまま下山します。

山頂駅から山麓駅間は、登山者は少なく快調に歩けました。途中ゲレンデ横を過ぎたあたりで、アイゼンを外しましたが、登山口前の最後の坂では凍結のため再度装着し安全を期しました。

AM11:30 ロープウェイ山麓駅着 計画時刻 13:00 着に対して、大幅に一致せず。雪山のタイム設定は難しい。

初の雪山個人山行でしたが、課題も見つかり、有意義な山行でした。

このコースは、登山者も多く、ロープウェイが通っており、安全性が高く、冬の体力トレーニングによいと感じました。ただし、標高差は登山口から山頂まで700m、山頂駅まで500mでややもの足りない感じ。登山口から山頂駅まで登り、スキーで下ってを繰り返すのが良いかと思いました。